

報道関係各位



太陽光発電自家消費対応 EMS サービス「ソーラーモニター Off-Grid」

8月20日からサービス開始

低圧・高圧スマートメーター B ルートデータ取得によるエネルギー管理を提供



エナジー・ソリューションズ株式会社(東京都千代田区 代表取締役社長:森上寿生)は、太陽光発電自家消費対応 EMS (エネルギー管理システム) サービス「ソーラーモニター Off-Grid(オフグリッド)」を8月20日よりサービス開始します。

「ソーラーモニター」シリーズは、2013年2月発売以来全国の産業用低圧太陽光から特高太陽光で4,500発電所を超える発電所に採用を頂きました。

2018年度から太陽光発電の買取価格は18円/kWhに減額されたことや、RE100(Renewable Energy 100%)に世界大手企業の加盟が拡大していることから、太陽光発電を自家消費として設置する企業が増加しています。

太陽光発電電力を自家消費することで、導入企業は上昇を続ける電気料金を削減することができ、またグリーン電力証書、Jクレジット、非化石証書等による環境付加価値を享受することが出来ます。

「ソーラーモニター Off-Grid」は、太陽光発電システムの稼働監視だけでなく、エコネットライト認証・AIF認証を取得したEMSコントローラ(ESI-スプレッドルーター)を内蔵しているため、低圧・高圧スマートメーター B ルートからデータを取得し、弊社データセンターからエネルギー管理を行うことが出来ます。

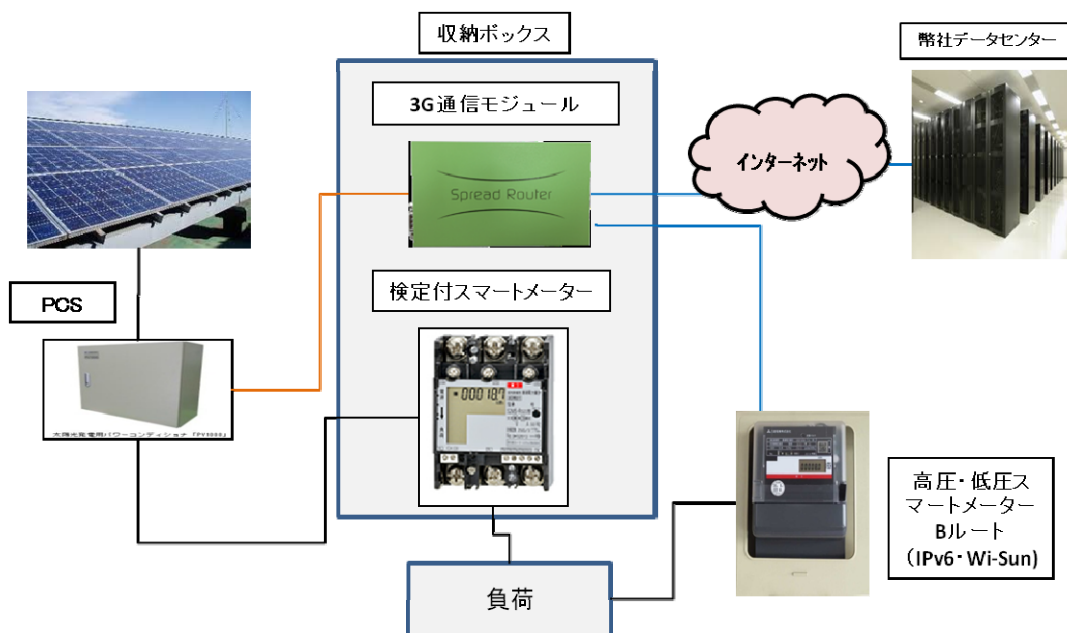
また、検定付スマートメーターを設置して太陽光発電からの供給電力量を計測することが出来るため、環境付加価値の計量を行うことが出来ます。

工場・医療施設・事務所等に設置される自家消費太陽光発電システムに対応し、3年間で1,000カ所を目標として弊社販売代理店を通して提供します。(価格はオープン価格となります。)

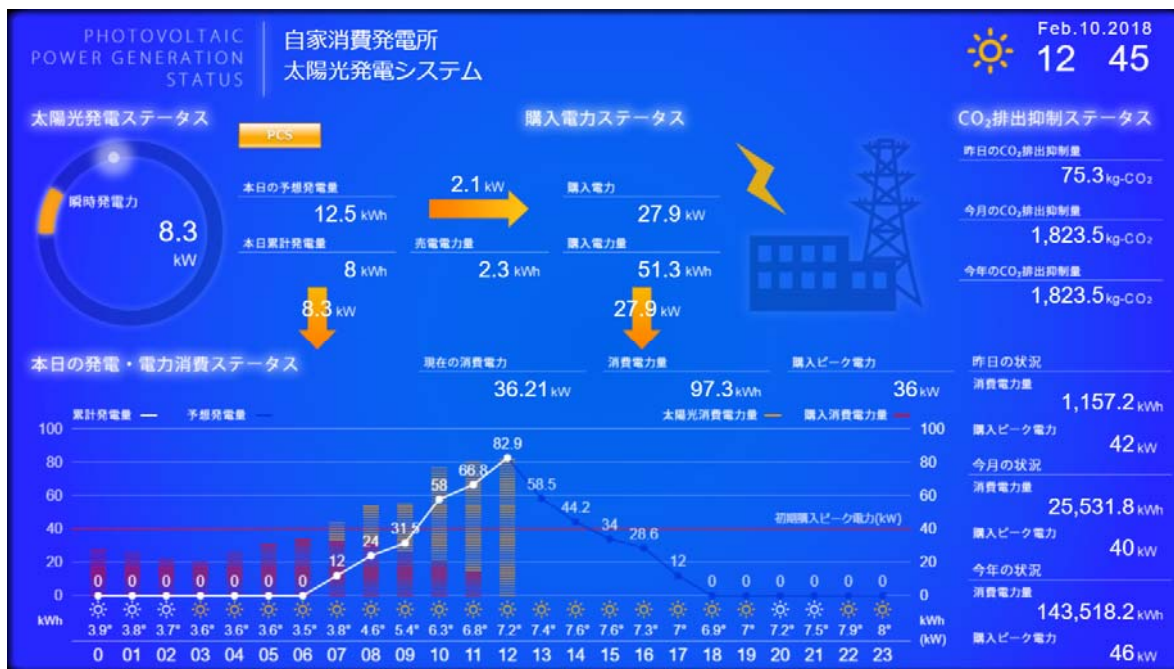
1、「ソーラーモニター Off-Grid」の特徴

- 1) 低圧・高圧スマートメーター B ルートからデータを取得し、エネルギー管理を行うことが出来ます。
- 2) 検定付スマートメーターで太陽光発電電力量を計測することで、環境付加価値の計量を行うことが出来ます。
- 3) 太陽光発電システム監視機能は、パワーコンディショナー単位での監視とともに、特許取得の相対比較監視アルゴリズムで障害をいち早く対応することが出来ます。
- 4) デザイン性に優れたリアルタイムモニターは、スマートフォン・タブレット・PCに対応し、いつでもどこでも発電状況・電力消費状況を確認出来ます。
- 5) 電力消費状況レポート(日次・週次・月次・年次)の自動配信機能を標準で装備しています。
- 6) 複数個所の発電所を一括で管理する管理サイトを標準で提供します。
- 7) 3G通信対応により新たな回線を契約する必要がありません。
回線がすでに用意されている場合でも、ルーターとして活用できます。

2、「ソーラーモニター Off-Grid」の構成



3、「ソーラーモニター Off-Grid」のリアルタイムモニター



4、低圧・高圧スマートメーターBルート取得コントローラにおけるエコネットライト認証・AIF認証について

電力会社の低圧・高圧スマートメーターBルートに対応したEMSコントローラとして、ESI-スプレッドルーター（構成図内3G通信モジュール）を開発し、エコネットライト認証・AIF認証を取得しました。

下記のエコネットホームページに掲載されています。

<https://echonet.jp/product/sma/>

